



## 石原社長定例記者会見概要

3月18日午後1時から、石原社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

### 〈役員新体制について〉

先週、新しい役員体制を発表した。4年ぶりに東京放送ホールディングスとTBSテレビの社長の兼務をやめ、二元体制で、4月からテレビの社長を武田取締役役に引き継いでもらうことにした。

ホールディングスは引き続き私が担当する。グループの中核であるテレビは、昨年来、バラエティが力をつけてきて、戦える体制ができつつある。ここで武田社長にバトンタッチして、視聴率の向上とシェア拡大を図ってもらいたい。ホールディングスの課題としては、グループの競争力強化、企業価値の向上を目的に、これまでも再編や効率化を進めてきたが、収入源の多角的拡大も含め、今後も検討を進めていきたい。

### 〈編成関連〉

2014年度下期の視聴率は、満足すべき状況ではないが、従来から強かった金曜、土曜に加え、『マツコの知らない世界』『モニタリング』などバラエティが安定した数字をとるようになり、上位を目指せる体制が整ってきた。ドラマも金曜日の『ウロボロス』と日曜日の『流星ワゴン』が健闘している。タイムシフトでご覧になっている方が多く、視聴率には反映されていないが、多くの方がコンテンツの価値を認めてくれているわけで、「ドラマのTBS」という意味では、大変貢献してくれており、今後につながっていくと感じている。

4月からは、TBSテレビ60周年特別企画としてドラマ日曜劇場『天皇の料理番』を放送する。それに先立って、まず3月23日から『ものづくり日本の奇跡』を5夜にわたってお届けする。戦後70年の特別企画については、すでに放送した『私の街も戦場だった』が、視聴者のたくさんの皆さまから高い評価を頂いている。今後も、戦争の記憶を風化させることなく、後世に伝えるべく、それぞれ節目で特別番組を編成してまいりたい。

### 〈営業関連〉

2014年度の業績見込みは、すでに売上げ、営業利益ともに下方修正し、減収増益となる。2015年度の営業見通しは、ネットタイムについては、改編作業は終了し、レギュラーベースで2014年度上期を上回る売上を確保した。単発では『世界陸上北京大会』のセールスに全力をあげる。スポットについては、4月は前年実績並みを目指している。

## 〈事業関連〉

春サカスが、20日(金)から始まる。今年は、「ママサカス 2015～TBS テレビ 60周年フェスティバル&春はイースターで遊ぼう!」というテーマで、4月5日(日)までの17日間にわたって開催する。初日は、オープニングイベントとして、石田純一・東尾理子夫妻をお迎えする。「ディズニーイースター」をいち早く体験できるほか、芝生エリアには、楽しんで体を動かせるアトラクションとして、『SASUKE』のクリフハンガーが登場する。また TBS アナウンサーによる「絵本のおはなし会」を開催するほか、放送センター1階では、TBS テレビ 60周年特別企画に因んだコンテンツを多数ラインナップする。ぜひ、ご家族でお越しいただきたい。

海外展開では、『SASUKE』が中東、ヨーロッパをはじめ、世界的な広がりを見せている。12月には初の中東制作となるトルコ版の放送がスタート、1月には初のヨーロッパ制作、スウェーデン版も始まった。4月には、イギリス民放最大手の ITV で「Ninja Warrior UK」の放送が始まる。ベトナムも4月末に制作を開始、アメリカでも「シーズン7」が3月に全米予選入り、5月にラスベガスで本戦を制作する。

## 〈ラジオ関連〉 TBSR&C 入江社長

2月聴取率調査の結果、TBS ラジオは前回と同率の週平均 1.1%で首位となり、82期(13年8ヶ月)連続聴取率1位を維持した。セツインユースも前回と変わらず 5.8 と低い水準だが、10-20代が伸びており、PC、スマホによる radiko 聴取が定着しつつあると実感している。4月改編は小幅でナイターゾーンと平日3時-5時がメイン。録音送出を生放送に変更するのは災害等緊急事態への対応と、朝型リスナーを意識した改編措置。TBS ラジオの生放送の割合は86%を越える。営業関連、2月はタイム前年比93%、スポット100%。2、3月は前年実績のバーが高いが、ぎりぎりまで積み上げる努力をしている。最終着地は減収増益となる見込み。

以上